



笑顔と緊張で迎えた一学期！ 多度学園の新しい日常

自慢の日常、広がる異学年交流！ 次の学期へ引き継ぐ「笑顔と絆」

新しい校舎に元気な声が響き渡るなか、開校から早いもので数か月。子どもたちにとって、また桑名市にとっても、初の小中一貫校である多度学園の1学期が終了し、夏休みを迎えています。開校前には「お兄さん、お姉さんとうまく過ごせるかな」「小学生と一緒に生活できるのかな」と期待とともに不安もあった児童・生徒たちでしたが、新しい学校生活が始まると、そこには学年の枠を越えた新しい「楽しさ」や「優しさ」が生まれていきます。休み時間などには、7年生・9年生が、出会う下級生に優しく声をかけたり、一緒に遊んだりする姿があります。掃除の時間には、掃除道具の使い方や、どうすれば汚れがきれいになるかを教える様子などが随所で見られます。児童生徒集会など、下級生



全校児童生徒による1年生との対面式

が、上級生の姿を見て憧れのまなざしで追いかける場面も多々あり、異学年の交流が日常的にある校内は、温かい雰囲気に満ちています。



上級生が企画した夏まつり交流会



清掃後にハイタッチをする1年生と9年生

子どもたちからは「新しく友だちになった子とメディアセンターに行ってきたよ。今度はたどつ子テラスで遊ぶんだ！」「9年生、今日も掃除のお助け来てくれるかな。終わった後にハイタッチしてもらおうのが楽しみ！」「開校式と入学式が楽しかった。1年生と手をつないでいれど小さくてかわいかった。」「他学年と日常から交流できることが、この学校の自慢です。」「1年生と一緒に掃除をすることがすごく楽しい！1年生の勢いが本当にすごくて、素直でちよつとしたことでも喜んでくれるし、何でも聞いてくれるから私たちもうれしい！」といった声が届いています。この一学期で育まれた絆を大切に、二学期からも子どもたちが主役となる、笑顔あふれる学校づくりをめざします。

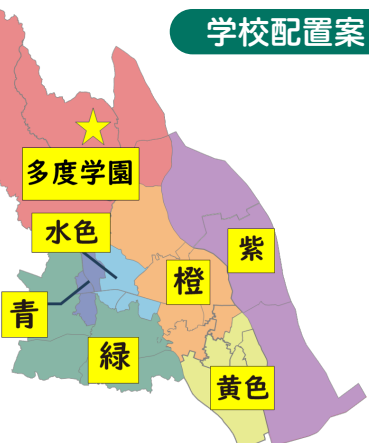
桑名市立小中学校再編計画

市では令和8年3月に、市内全域を対象とした、桑名市立小中学校再編計画を策定しました。全国的な人口減少・少子化は進み、本市においても児童・生徒数の大幅な減少が見込まれています。このままでは「生きる力」を育むために必要な一定の集団規模や、多様な価値観に触れる機会の確保が困難になることが予想されます。加えて、各学校施設の老朽化は進行しており、児童生徒の安全・安心の確保、さらなる技術の進展による教育の変化に対応することも困難になることが懸念されます。この再編計画は子どもたちにとってより良い教育環境を実現することを最優先とした、市内の小中学校の将来構想を定めたものです。再編される新しい学校の設置場所や設置時期、学校規模、順序などは、現時点で決定していません。再編計画に基づき、学校再編の必要性やめざす方向性については、地域の皆さんとの共通理解の醸成に努めるとともに、多度学園での経験を生かした上で、ワークショップなど、対話の場を設け、新しい学校の姿や地域の思いを今後具体的にお聞きすることを考えています。

再編計画基本方針

- ①子どもたちにより良い教育環境を実現すること
- ②望ましい学校規模
- ③分散進学^①の解消
- ④施設形態 施設一体型小中一貫校
- ⑤校種 義務教育学校

学校配置案



学区割構成

水色	大山田東小学校 大山田南小学校 藤が丘小学校 上記小学校区の生徒	橙	精義小学校 益世小学校 修徳小学校 大成小学校 深谷小学校 大和小学校 上記小学校区の生徒
	大山田北小学校 大山田西小学校 星見ヶ丘小学校 上記小学校区の生徒		日進小学校 立教小学校 城東小学校 城南小学校 上記小学校区の生徒
	桑部小学校 在良小学校 七和小学校 久米小学校 上記小学校区の生徒		長島北部小学校 長島中部小学校 伊曾島小学校 上記小学校区の生徒
青		黄色	
緑		紫	

※「生きる力」とは確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視し、下記3つで構成される力を言います。
①基礎的・基本的な知識・技能の習得
②知識・技能を活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力の育成
③主体的に学習に取り組む態度や、学びに向かう力、人間性の涵養

小中学校再編計画(原案)の説明動画を見た子どもたちの感想

学校はもう古いからはやく学校がくっついてほしいです。

毎年必ずクラス替えができるほどの規模にしてほしい。

分散進学はなくてほしい。

毎日時間をかけて学校に行っているの、バス通学にしてほしいです。

小中一貫校ができるのは不安だけれど、校舎が新しくなってたくさんの設備ができることや新しい友達を増やせる機会になるのはいいことだと思います。

桑名市民全体で、権利の主体である子どもの最善の利益を第一に考え、子どもの声に耳を傾け、大人と子どもが対等な立場で協力し、子どもの権利が保障されるまちをめざすため、市では令和7年4月に、『桑名市子どもの権利条例』を制定しました。桑名市教育委員会としても、小中学校再編計画について、子どもたちの意見を聞く機会が必要であると認識しており、令和7年9月に『ぼくたち／わたしたちの学校』学校再編についてという、子どもたちにも再編計画を知ってもらうための動画を作成しました。たくさんのお意見や感想をもらいましたので、その一部をご紹介します。

中には「今の学校が大好きだからそのままがいい」という意見や「今より(学校が)遠くなるからいやだ」という意見もありました。一方で「今の学校がなくなると少し寂しいけれど、一貫校の良さもあると思うので楽しみ」や「小中一貫校に関してはきれいになるし、小学生とも関わっていいと思う。移動距離が増えるなら通学が大変だから、バスとかが欲しい」といった、自分なりの考えを含めた前向きな意見が多く見受けられました。